

農福連携講座

農業と福祉が
つながる

事例に学ぶ
持続可能な
経営戦略

「農福連携」とは、障がいのある方等が、農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現するとともに、農業者にとっても担い手不足解消のきっかけとなる取組です。

福岡県では、「農福連携」の取組拡大に向け、農業者や福祉施設職員、関係機関職員を対象に、基本知識の習得や作業マニュアル作り、先進地事例の視察等からなる「農福連携講座」を開催します。

「農福連携」に関心のある方の積極的な参加をお待ちしています。

対象 農福連携に関心がある農業者・福祉施設職員等 定員 30名 締切 7月16日

1 7/24
[水曜日]

開講式・実践者トーク 農福連携に関連する基本知識

- 塾長 / 社会福祉法人ハイジ福祉会 施設長 山口 隆充 氏
- 講師 / NPO法人 HUB's理事長 農水省「農」の機能発揮 支援アドバイザー 林 正剛 氏

会場 福岡県農村整備センター
(福岡市博多区千代)

時間 10:00~15:00

2 8/28
[水曜日]

作業の洗い出しと切分けの考え方と実践・実践者トーク 仕事の依頼・受注の仕方とそのポイント

- 塾長 / 社会福祉法人ハイジ福祉会 施設長 山口 隆充 氏
- 講師 / CODINO PJ FUK 代表 オンライン直売所「マレプル」創設者 澄田 和矢 氏
- 実践者 / 就労継続支援(A型) K'sファーム / 一般社団法人 THE CHALLENGED 代表理事 山内 朋子 氏 ノウフク・アワード2023準グランプリ

会場 福岡県農村整備センター

時間 10:00~15:00

3 9/11
[水曜日]

先進事例 視察

- 有限会社カットサービスはざま農園(福岡市西区)
- 白糸農園・大地の恵み(糸島市)

会場 各ほ場

時間 10:00~15:30

4 9/25
[水曜日]

農福連携実現までのロードマップ・実践者トーク まとめ

- 塾長 / 社会福祉法人ハイジ福祉会 施設長 山口 隆充 氏
- 講師 / 株式会社平栄 福祉事業部長 元農福連携コーディネーター 三善 史博 氏
- 実践者 / 有限会社ウラタ農園 代表取締役 浦田 康明 氏

会場 福岡県農村整備センター

時間 10:00~15:00

参加者に
農福連携事例集
を配付

申込方法 二次元コードもしくは裏面の申込用紙に記入の上FAXを事務局へお送りください。

二次元コード





講師プロフィール



第1回

NPO法人 HUB's理事長 農水省「農」の機能発揮 支援アドバイザー **林 正剛氏**

障がい者就労の中間支援組織、滋賀県社会就労事業振興センターから、全国組織の日本セルフセンターへ出向し東北3県の被災地支援担当。のちに国事業のノウフク立上げに携わり、農福連携事業の全国展開に尽力する。2016年HUB'sを設立し、全国各地で農福連携を含む障がい者就労支援、地域活性化事業に取り組んでいる。



第2回

CODINO PJ FUK 代表 オンライン直売所「マレブル」創設者 **澄田 和矢氏**

JA福岡中央会入会後、農政・米政策や組織監査、JA経営支援に従事。2020年に独立し、CODINO PJ FUKを設立、同年オンラインマルシェ「マレブル」を開設。農業者の経営管理を支援するとともに、オンラインとリアルの両マルシェで農家の美味しさを食卓に届ける活動を実施。



実践者トーク

K'sファーム 一般社団法人 THE CHALLENGED 代表理事 **山内 朋子氏**

就労継続支援A型、同B型事業所を運営。更生保護協力雇用主として触法等障がい者の更生支援も実施。認定農業者として付加価値の高い花き生産に取り組むとともに、170を超える農業経営体から多種多様な作業を受託し、地域農業を支える。



塾長

社会福祉法人ハイジ福祉会 施設長 **山口 隆充氏**

高校卒業後、福岡立花農業協同組合へ入社。2009年JAを退社し(社福)ハイジ福祉会に入職。2014年より就労継続支援A型事業所フラワーパッケージセンターを開所し、花きのパッケージ作業を請負う農福連携に取り組む。放棄農地を約800坪取得後はJAの各部会に加入し、花き・トマトの生産にも取り組む。2017年に施設長就任。

第3回 視察

(福岡市西区・糸島市)

- 有限会社カッターサービスはざま農園
20年以上前にねぎ生産だけでなく、カッターサービスを開始。一部の工程を福祉施設に委託している。
- 白糸農園・大地の恵み
白糸農園では葱作業を中心に生産活動を行い、大地の恵みでは水稲・玉ねぎ・季節の野菜などの生産活動を行っている。



第4回

株式会社平栄 福祉事業部長 元農福連携コーディネーター **三善 史博氏**

2010年に福岡市 知的・精神障がい者農業等就労訓練事業にて、障がいのある方が農業の分野で活躍できる仕組みを実施。2011年に障がい者しごと支援センター木の実を糸島市に開設してからは、農業・畜産業・漁業の事業者の方々との連携を軸に障がいのある方々の就労支援を行い、長年にわたり、農福連携コーディネーターとして活躍。



実践者トーク

有限会社ウラタ農園 代表取締役 **浦田 康明氏**

先代の農業(ニラ、小松菜)を引継ぎ、平成13年に法人化。その後、水菜の生産を開始。数年前からは、スイートコーンやじゃがいもなどの生産・収穫・販売に新しいスキームを考案し、win-winの関係を実現する農福連携に取り組む。

令和6年度 農福連携講座 申込用紙

応募〆切: 令和6年7月16日(火) 必着

申込日: 令和6年 月 日

申込方法

- 参加希望者は申込用紙にご記入の上、(申込フォーム) FAXまたは右記のweb申込フォームからお申し込みください。



その他

- 申し込み後、県庁より受講可否をお知らせします。
- 会場には駐車場がありませんので、公共の交通機関をご利用ください。
- 発熱等の体調不良の場合は事務局にご連絡ください。

申し込み先

令和6年度農福連携支援事業 FAX:092-751-8831

運営事務局(委託事業者):株式会社フラウ TEL:092-751-8830 Mail:nogyo@frau-net.com

| | | | | | |
|--------------------------------|--|----------------|--|---------------|--|
| フリガナ | | | | 年代 | <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代以上 |
| 氏名 | | | | 農業・福祉 従事年数 | <input type="checkbox"/> 農業 年 <input type="checkbox"/> 福祉(A型/B型) 年 |
| 住所 | 〒 | | | | |
| TEL(携帯) (日中連絡がつく番号) | | | F A X | | |
| 団体・事業所名 | <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人(法人名:) | メー アド レス | | | |
| (農業者) 生産品目・生産規模 (ha) | ※福祉施設で農業経営している場合は記入ください。 | | | | |
| 農福連携について | <input type="checkbox"/> すでに連携している <input type="checkbox"/> 予定はないが、情報収集段階 | | <input type="checkbox"/> 連携を予定している、検討中 <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 「農福連携」について 知りたいこと 聞きたいこと | | | | | |